

「山形県立河北病院経営健全化計画」改正(案)の概要

令和6年2月
山形県病院事業局

1 計画改正の趣旨

- ・ 病院事業会計の資金不足解消のためには、資金不足の大部分を占める河北病院の経営改善が重要であり、令和元年に「河北病院経営健全化計画」を策定し、経営の健全化を推進してきた。
- ・ 令和4年3月、総務省が「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」を発出し、「公立病院経営強化プラン」策定を求めた。
- ・ 山形県病院事業中期経営計画の個別計画編に位置付けられている本計画を、中期経営計画同様に「公立病院経営強化ガイドライン」に基づき改正し、「公立病院経営強化プラン」として位置付け、令和9年度まで継続して経営健全化に取り組む。

2 計画期間

- ・ 中期経営計画と同様に、令和9年度までとする。(ガイドラインの終期に合わせ2年間延長)

3 経営健全化の基本方針

- ・ ミッション「地域から信頼される病院として質の高い安全な医療を提供する」
- ・ ビジョン「地域医療を支えられる健全な病院経営を目指す」

5 経営健全化の取組み

(1) 経営健全化の取組みの方向性

- ・ 西村山地域の中核病院として、救急医療、急性期医療、地域包括ケア、緩和ケア、在宅医療等、多様な医療機能を有する特長を生かしながら、地域に根差した総合的な医療提供機能を強化し、経営健全化の取組みを進める。
- ・ 高度急性期病院や地域の医療機関、介護施設、福祉施設、近隣地域の医師会との連携強化及び総合診療機能の拡充による救急医療から在宅医療までの連携を進める。
- ・ 病院機能見直しと併せて、病棟や外来も含めた病院全体の医療提供体制を適切に見直す。

(2) 患者数に応じた診療体制の見直し

① 急性期病棟、地域包括ケア病棟、緩和ケア病棟

- ・ 急性期病棟については、高度急性期病院との連携や機能分担を図る。
- ・ 地域包括ケア病棟については、急性期病院からの転院受入れ、在宅医療機関、介護施設、福祉施設等との連携により、在宅や施設等で急に状態が悪化した患者の受入れや一時的に在宅医療が困難となる患者のレスパイト入院の受入れにも取り組む。
- ・ 緩和ケア病棟については、緩和ケア科以外の医師も主治医として診療に当たる診療科横断的な患者受入れ体制の整備により病床利用率の向上を図る。
- ・ いずれの病棟についても、引き続き地域の医療需要を踏まえて必要な病床数を検討する。

② 外来の診療体制

- ・ 常勤医師不在により外来診療だけで入院診療を行っていない診療科について、周辺の医療機関との機能分担も踏まえながら、適切な外来診療体制となるよう検討する。

③ 健診機能の充実

- ・ 令和3年度から本格的に実施した人間ドックの利用者拡大を図るとともに、健診を契機とした外来及び入院患者の確保に努める。

④ 救急外来の運用

- ・ 経営改善に加え、医師の働き方改革の推進のためにも、患者数が少ない深夜から早朝にかけての時間帯について、他の急性期病院とも連携や調整を進めるなど、患者受入体制の見直しを検討する。

4 経営の現状

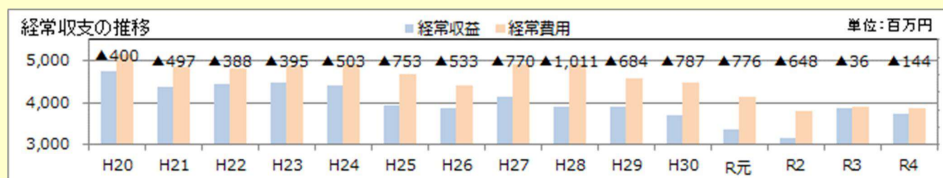
○西村山地域の人口動態

(総人口) H12年 92,118人 → R2年 76,798人 → R7年(推計)71,702人
(65歳以上人口) H12年 23,506人 → R2年 27,664人 → R7年(推計)27,460人

○患者動向

(入院) 地域の人口減少や常勤医師の減少等により、患者延数、新患者数ともに減少し、令和4年度は平成20年度比で患者延数は約65%、新患者数は約68%減少している。
(外来) 地域の人口減少や常勤医師の減少等により、患者延数、新患者数ともに減少し、いずれも令和4年度は平成20年度比で60%以上減少している。

○経営動向 経常収支は平成16年度以降令和4年度まで19期連続の赤字となっている。



(3) 人員配置の適正化

- ・ 引き続き効率的な人員配置に向けて短時間勤務の看護師の配置の検討等を行うとともに、受付業務の見直しによる効率化と委託費用の削減に取り組む。

(4) 収益確保、費用縮減の取組み

- ・ 医療資源に見合う施設基準の取得、加算の算定率向上等による診療報酬制度への対応強化、弁護士法人と連携した回収強化等の個人医療未収金対策の強化を図る。
- ・ 高齢化により増加が見込まれる複数の疾患や多様な問題を抱える患者に対応するため、総合診療医の確保及び育成を図るとともに、訪問診療の実施等により、患者の確保に努める。
- ・ AI問診や勤務管理システム等ICTを活用したタスクシフト/シェア等による時間外労働の縮減、専門コンサルタントを活用した価格交渉強化等による医薬品や診療材料の調達コストの縮減、委託業務の仕様の見直し等による契約金額の削減等の取組みを行う。

(5) 質の高い医療の提供(「新興感染症等の感染拡大時等に備えた平時からの取組み」を含む)

- ・ チーム医療の推進、ICTやQI(クオリティインディケーター)の活用等により医療の質及び患者サービスの向上を図る。
- ・ 感染防護具等の備蓄、院内研修の定期的な開催、地区医師会や保健所との合同訓練等を行う。

(6) 人材の確保及び育成

- ・ 引き続き山形大学からの広域臨床実習医学生を受け入れる。
- ・ 総合診療専門研修プログラムを整備し、総合診療医の確保及び育成を図る。
- ・ 河北町教育委員会と連携した体験学習の受入れ等により、医療従事者を志望する気運の醸成を図る。

(7) 大学、地域の医療機関等との連携の推進

- ・ 大学や地域の医療機関、介護施設や福祉施設等との連携を強化するとともに、「河北病院と寒河江市立病院との統合を軸に検討を行う」とした西村山地域医療提供体制検討会の議論を踏まえ、引き続き将来像の検討を行う。

(8) 収支計画(経常収支比率の目標)

項目	R元年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)	R8年度 (目標)	R9年度 (目標)
経常収支比率	81.3%	83.0%	99.1%	96.3%	88.4%	92.9%	93.9%	97.8%	97.2%